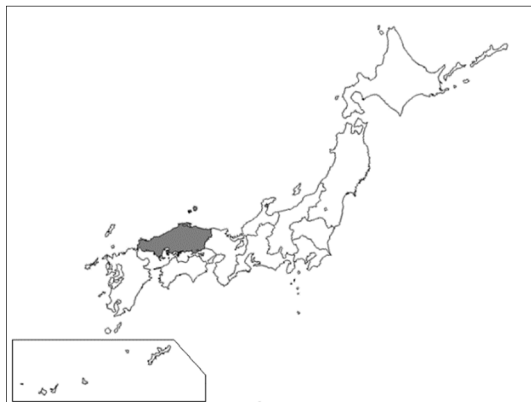


(9) 中国



中国地域では、景気は新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している。

- ・ 鉱工業生産は持ち直している。
- ・ 個人消費はこのところサービス支出を中心に弱い動きとなっている。
- ・ 雇用情勢は感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、求人数等の動きに底堅さもみられる。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す (は上方に変更、 は下方に変更)。

前回からの主要変更点

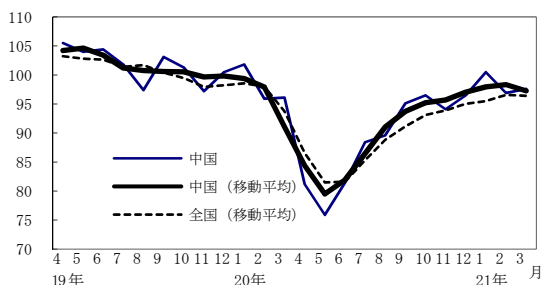
	前回 (令和3年3月)	今回 (令和3年6月)	
景況判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している	↓
個人消費	このところ弱含んでいる	このところサービス支出を中心に弱い動きとなっている	↓

1. 鉱工業生産の動向

鉱工業生産は持ち直している。

1－3月期の鉱工業生産は、電子部品・デバイスは固定コンデンサ等が増加したこと、汎用・生産用・業務用機械は半導体製造装置等が増加したこと等により、前期比2.7%増となった。

鉱工業生産指数



域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		10－12 月期	1－3 月期	1月	2月	3月
輸送機械	23.2	13.1	▲1.8	6.0	▲7.2	▲0.9
汎用・生産用・業務用機械	13.3	▲0.8	4.7	10.0	▲7.8	6.9
化学	12.2	8.5	3.8	▲7.3	9.7	▲7.1
電子部品・デバイス	8.8	▲5.4	5.7	9.9	▲1.0	5.0
食料品・たばこ	6.8	▲6.0	▲0.7	▲3.6	▲2.1	0.3
鉱工業	100.0	5.2	2.7	4.1	▲3.6	0.7

(備考) 1. 2015年=100、季節調整値。中国の最新月は速報値。
2. 全国及び中国の太線は中心3か月移動平均。
直近月は2か月平均。

(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。
2. 1－3月期、3月は速報値。

2. 個人消費の動向

個人消費はこのところサービス支出を中心に弱い動きとなっている。

(1) 地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

1-3月期は前期比1.6%減となった。月別にみると、1月は前月比2.5%減、2月は同1.3%増、3月は同0.7%増となった。

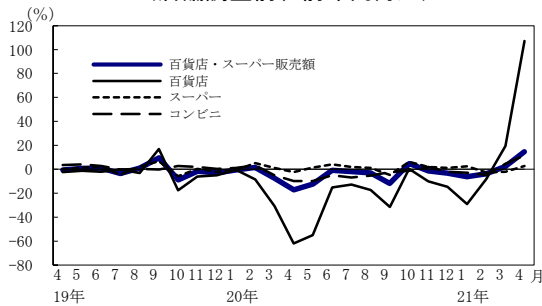
(2) 百貨店・スーパー販売額

百貨店・スーパーは、1-3月期は前年同期比2.7%減となった。月別にみると、1月は前年同月比6.2%減、2月は同3.9%減、3月は同2.3%増となった。

百貨店は、1-3月期は前年同期比8.9%減となった。

スーパーは、1-3月期は同0.8%減となった。

百貨店・スーパー販売額等
(店舗調整前、前年同月比)



	2021年1-3月	2021年1月	2月	3月	4月
RDEI (消費*1)	▲1.6	▲2.5	1.3	0.7	—
百貨店・スーパー(*2)	▲2.7	▲6.2	▲3.9	2.3	14.6
百貨店(*2)	▲8.9	▲29.2	▲8.3	19.6	107.2
スーパー(*2)	▲0.8	2.3	▲2.7	▲2.1	2.6
コンビニ(*2)	▲1.0	▲2.9	▲4.9	4.6	11.5
乗用車(*3)	4.1	8.0	0.2	4.5	30.5
(季節調整値) (*3)	▲7.5	1.5	▲8.0	0.2	15.4

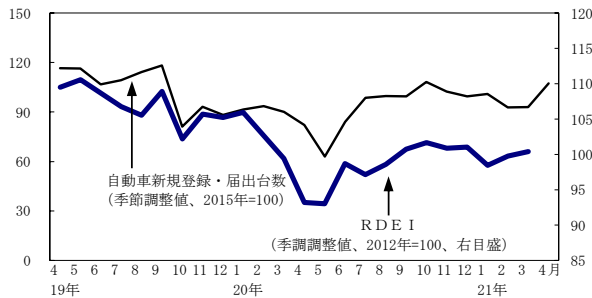
(備考) 1. 季節調整済前期(月)比 (%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)

2021年4月は速報値。

3. 乗用車は、新規登録・届出台数 (上段は前年同期(月)比(%))

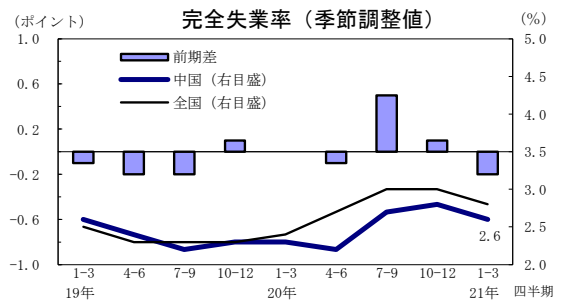
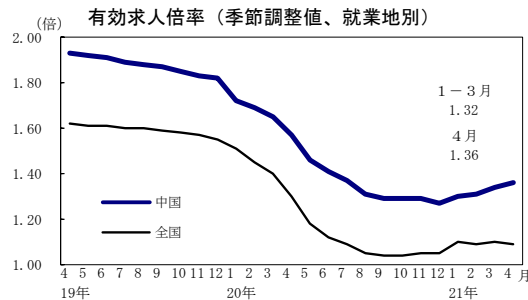
RDEI (消費) と自動車新規登録・届出台数の推移



3. 雇用情勢

雇用情勢は感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、求人数等の動きに底堅さもみられる。

有効求人倍率は上昇している。完全失業率は前期を下回っている。



(13) 景気ウォッチャー調査 (令和3年4月調査) 景気判断理由の概要

9. 中国

(良、 やや良、 不変、 やや悪、 ×悪)

分野		判断	判断の理由
現状	家計 動向 関連		・ 結婚式、葬式、パーティー、お茶会も開催されないで、呉服業界は需要が全くない(商店街)
			・ 来客数は戻りつつあるものの、野菜の単価安や精肉の外国産へのシフトなどがあり客単価が低い(スーパー)
			・ 新型コロナウイルス発生以前の平常時と比べると乗客数は3~4割減少しているが、3か月前と比べるとやや良くなっている(タクシー運転手)
	企業 動向 関連		・ 電子商取引の発送が好調で、新たな需要も出ている。企業からの受注量は微減であるが、個人市場は好調である(輸送業)
			・ 部品等の仕入先である取引先においてクラスターが発生したことで生産中止等により部品調達が遅延している。また、代替先の選定も困難な状況にあり、社内の生産に影響を及ぼしている(電気機械器具製造業)
雇用 関連		・ 接客サービス業では一部、採用縮小、採用中止する企業も散見されるが、中堅中小企業の採用ニーズは依然として強い(求人情報誌製作会社)	
		・ 自己都合離職者が増加傾向にあり、新規求職者数が前年を上回っている。特に介護施設や医療関係事業所の退職者が目立ち、長引く新型コロナウイルスの影響が少なからずある(職業安定所)	
その他の特徴 コメント			： 利用料支払の延滞件数が2月以降増加している。ただ、督促による回収率も上昇している(放送通信サービス) ×： 3回目の緊急事態宣言が発出し、キャンセルが増え、来客数が激減している(観光型ホテル)
分野		判断	判断の理由
先行き	家計 動向 関連		・ 新型コロナウイルスの状況次第であるが、現状ではこのままの状況が続く。ただ、感染者数が少ない地域なので、ちょっとしたクラスターでも発生したら大きな影響が出る可能性はある(百貨店)
			・ ゴールデンウィークを目前とした状況にあって、他都府県の緊急事態宣言の影響を受けて、宿泊予約が伸び悩んでおり、今後、景気はやや悪くなる(都市型ホテル)
	企業 動向 関連		・ 鉄鋼業向けの生産が好調なため、当面、現在の水準の生産が継続する(窯業・土石製品製造業)
			・ 3度目の緊急事態宣言が発出されたこと、また、発出されていない地域も影響を受けることから、景気は後退する(金融業)
	雇用 関連		・ 企業の採用活動が本格化する時期となるが、新型コロナウイルスの影響が続き、スムーズな活動を行うことが難しくなる(学校[短期大学])
その他の特徴 コメント			： 半導体不足による生産の遅延の影響で、今後、数か月は楽観視できない(乗用車販売店) ： 1年程度は現在の状況が継続する。大型物件の割合が上昇しているため失注や遅延が発生したときの対応が重要になってくる(建設業)

(D I) 現状・先行き判断D I (中国)の推移(季節調整値)

